

開校10周年

はぎやま



瀬戸市立萩山小学校

瀬戸市立萩山小学校 開校10周年記念誌



昭和 57 年 11 月

教 育 目 標

- たくましく生き抜く力を持った子
- よく考え、みずから学ぶ子
- なかよくはげまし合い、進んで奉仕する子
- いのちやからだを大切にし、
持久力のある体力を持った子
- 礼節を重んじ、思いやりのある子



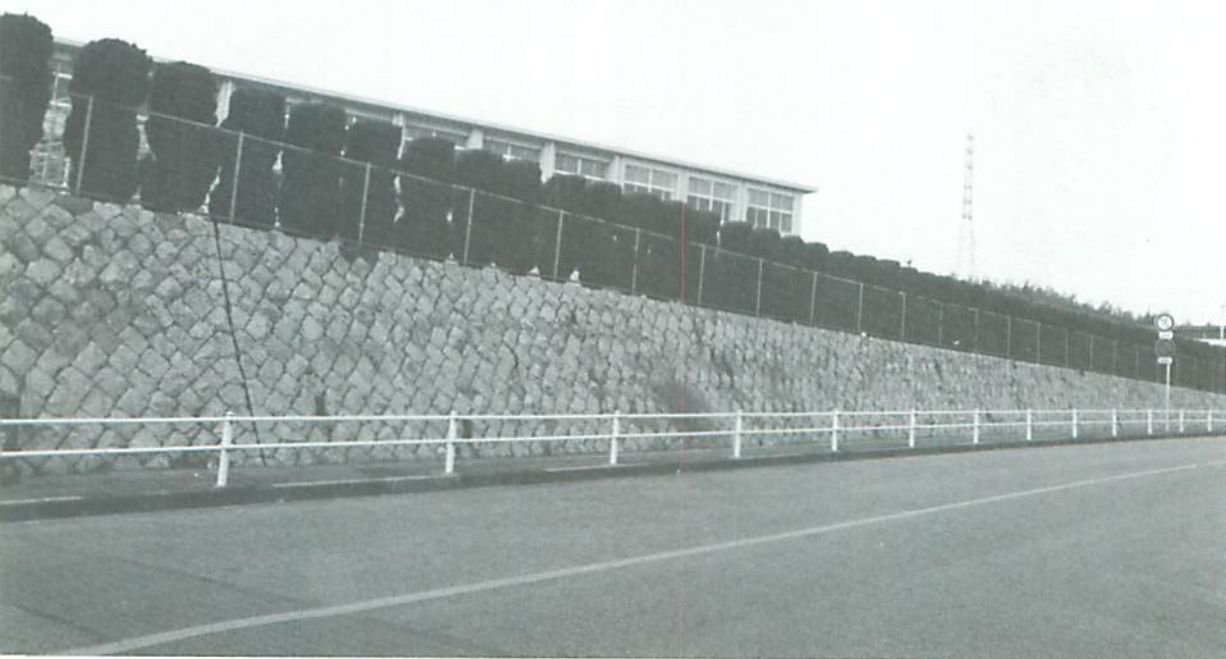
校歌

作詩 大野 定一
作曲 横川 志保子

一、風さわやかな 丘の上
明るい陽ざし校庭に満ち
学びにはけむ 瞳あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

二、鈴鹿は遠く陽に映えて
大きい空にとどろくと
望みを語る 響あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

三、朝露光る 学舎に
みなぎる力身にひめて
未来をめざす姿あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ



開校10周年を祝して



学校長 栗 木 通 久

本校が現在のようにかくも立派な教育の殿堂として発展するに至った10年を回顧する時、幾多の困難な経緯をたどってきたことは事実であり、まことに隔世の感を禁じ得ないものがあります。

私は4代目校長として赴任し、この栄えある開校10周年を迎え、教育条件の整備された現状において学校経営ができますことを有難く、むしろ申し訳ない気持ちで一杯であります。またこの良き時代に本校に職を奉ずることのできましたことを教職員ともども心から感激している次第であります。

沿革史をひもとき、一昔10年の過去に思いをいたしますと、児童数144名、学級数6、教職員は毛利元孝初代校長始め11名で、昭和48年4月3日に開校されました。当時は校地も造成されたばかりで、校庭らしきものもなく、校内の緑は皆無の状況でした。ところが今では歴代校長、教職員を始め、市当局・学区・父兄等関係各位のご理解ご協力により、教育施設は充実され、教育条件も整備され恵まれた教育環境にさせていただきました。そして10年目の本年度は、児童数1119名、学級数27、教職員数36名という大規模校に発展いたしました。私共一同先輩各位の尊い力に思いをいたし、今後はこの恵まれた施設を活用し、教育内容の充実に努め、各位の期待や要望に応えるよう覚悟を新たにします。

開校10周年を祝して



PTA会長 小 栗 敏 男

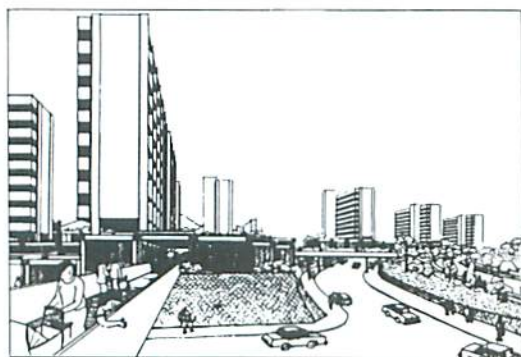
昭和48年4月、県有林を切り拓いて出来た菱野団地の片隅に、呱呱の声をあげた萩山小学校が、いまや立派に成長して開校10周年を迎えました。誠に欣快にたえません。心からお祝いとお慶びを申し上げます。

顧みれば、萩山小学校10年の歩みは、新設校の宿命として、教育環境整備に追われた10年でありました。幸いにして、関係当局の温かいご理解、PTA会員の皆様の教育に対する高い見識と熱意、先輩各役員・委員の皆様の格別のご努力のお陰により、逐次設備も拡充されてまいりました。来年度には、いよいよプールの設置も予定されており、ようやく他校に何らひけをとらない教育環境の完備した学校となります。

萩山小学校は、開校以来「緑と太陽のある学校」を標榜しております。これは単に、「校庭に木々が生い繁り、太陽がさん然として輝く学校」という意に止まらず、「知性（緑）と情熱（太陽）をもった人間に育てる」ことを教育理念としていると解されます。

いま、創設期から発展期への転換の節目にあたり、こうしたすばらしい理念に基づく学校教育の進展が、期待されるところです。21世紀の世界を担うに足る人間が育てられますよう、萩山小学校のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

菱 野 団 地



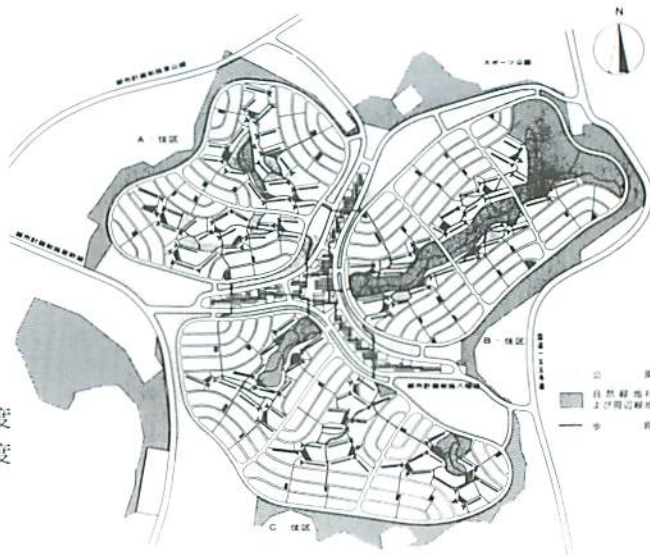
▲ 中心地区の構想

“緑と太陽の街”をテーマに設計された菱野団地は、愛知県の新地方計画の重点事業の一つとして昭和42年より建設が開始された。

名古屋の都心から僅か18キロの距離にある瀬戸市菱野・山口地区の丘陵地に173ヘクタールの「ニュータウン」を開発し、名古屋、春日井、豊田など人口集中地区の住宅難の解消を図るとともに、新たな発展期を迎えた瀬戸市の都市開発の一翼を担うことを目的として開発が推進された。

計画の概要

計画面積	173.5ha
住宅建設戸数	6,484戸
(県営住宅)	3,740戸
(公社住宅)	2,744戸
計画人口	26,000人
人口密度	150人/ha
建設計画	
(土地造成)	昭和42～54年度
(用地造成)	昭和44～56年度
事業費	406億円



▼ 現在の菱野団地

▲ 菱野団地全体計画



—— 萩 山 台 ——

菱野団地の中の2番目の住宅として計画し建設された萩山台は、3つの住宅の中では1番高台にある。自然緑地や周辺緑地も多い。

また、元の地形を多く残しているため、中央の自然緑地を背にして、ひな段状に宅地が造成されている。



▲
◀ 建設進む萩山台
▼



計 画 の 概 要

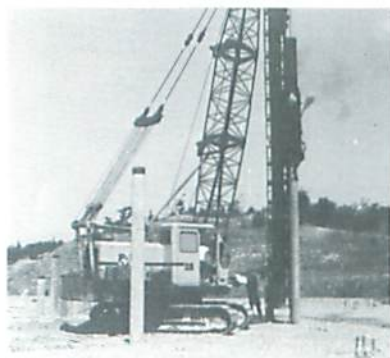
住宅建設戸数	1,894戸
(県営住宅)	1,002戸
(公社住宅)	892戸
計 画 人 口	7,386人
建 設 計 画	
(土地造成)	昭和45・46年
(用地造成)	昭和46～48年



住宅建設とともにすすむ 校 舎 建 築



▲ 学校用地



◀ 杭打ち作業



▲ 遊具の設置

◀ 運動場の整備

学校のまわりでは、道路の舗装や石垣つみが行われており、校地内ではまだ工事が続いていた。砂場の排水、側溝工事、いたるところにころがっている鉄くず、石ころ、木材など……。開校まであと一週間。「こんな状態で開校に間に合うのだろうか」という不安が頭をよぎったと、当時の職員は回想している。

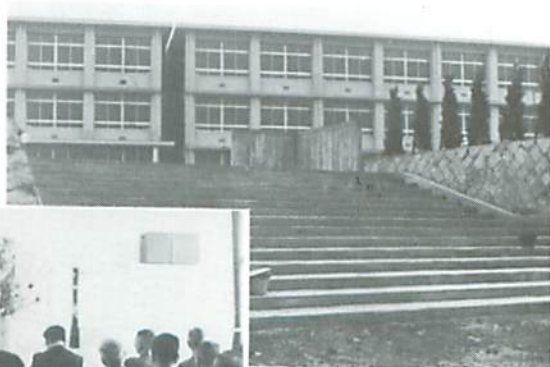


▲ 完成間近かの校舎と上庭

4月3日 開校式

東山小学校に続いて、瀬戸市で18番目の小学校として誕生した。

当日は入学式と重なって、多忙をきわめたが、天候にめぐまれた暖かい日だった。



▲ 新装なった校舎



開校式 ▶



萩山小学校の思い出

初代校長 毛利元孝

昭和48年4月、瀬戸市の18番目の小学校として誕生した萩山小学校。当初全校児童数144名、教職員11名。

開校式当日、大変穏やかで暖かい開校にふさわしい日でした。式典は3階音楽室、大勢の関係者を迎え、厳肅さが堂に漲るうちに松浦教育長の開式のことば、水野教育委員長の開校宣言、加藤市長のあいさつ、日比野市議長の祝辞とつづく……。学校長あいさつ……。近代建築の粋を集めて建てられたこの萩山小学校、全職員一丸となって子どもの教育の殿堂、新しい学校づくりに全力投球いたします。……決意のほどを述べた。私にとっては緊張と感激のときであり、生涯を通して忘れることのできない経験でした。今もなおそのときの情景が脳裡に鮮明に焼きついています。

当時の私のメモ帳に「萩山小学校教育目標……未来の日本をになう有為な人間育成を旨とし、豊かな人間性とたくましい体力をもち、みずから学ぶ意欲に満ち、勤労と協調を尊重し、社会に貢献できる人間の育成……」と、記してある。そして、開校式終了後ただちに入学式、その翌日が始業式と全く時間的余裕がなく職員間の連絡調整が十分できない状態、しかし、職員一人ひとりには各々の立場で行動し、それでいて全体運営は全くスムーズにできた。学校づくりという大目標に向かって全員の見事な連けいプレーである。一人ひとりが神々しくも見えた。感謝の一語と。

今年10周年、記念すべきときを迎えられた萩山小学校の限りの躍進を祈ってやみません。

(現 尾張教育事務所次長)



▲ 開校時の職員

入学式(新一年三十八名)	卒業式(音楽室)
開校式	校内作品展
遠足(低学年山口富士)	PTA設立総会
高学年 青少年センター	就学時検診
小運動会	映画「夢野団地」上映 (三・四・五年)
市内陸上記録会	原山小との球技会
瀬戸市内見学 (三・四・五・六年)	航空写真撮影
交通安全指導	父親学級
校章決まる	修学旅行(静岡方面)
宿泊訓練	秋季大運動会



▲初めての入学式

希望の胸ふくらませて

4月3日、よく晴れた暖かい日、新設の萩山に新1年生が、親に手をひかれて登校してきた。36名の児童が入学手続きを終えたが、入学該当者名簿では55名いる。放送で住宅街へ呼びかけたが、やってくる気配はなかった。結果的には、新1年生36名、初年度は、各学年1クラス、計6クラスでスタートすることになった。

初めての朝礼

全校児童144名、先生8名の朝礼、これが数年後には1000人を越える学校の初めての集いである。職員室の前に小さく固まったような子どもたちと広い運動場がいかに人待ち顔である。



▲152名の朝礼



元南山中学校長
河本嘉男先生の
デザイン

校章決まる

どんなやせ地でもよく育ち繁殖する萩の如く、子どもたちが、自分の力でたくましく育ち将来の萩山の担い手として立派に伸びていくことを念じ校章「萩山」を制定した。萩山の萩の字形は、萩の葉をデザインしたものである。

宿泊訓練

夏休みに5・6年生を対象の宿泊訓練が実施された。

3階の教室に宿泊し、飯ごう炊飯とキャンプファイアー。夜のファイアーには父兄も参加し、高く燃えあがる火のもとに、連帯の意識も高まった。



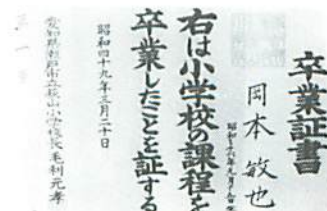
◀校庭での飯ごう炊飯

巣立つ25名

第1回の卒業証書授与式が音楽室で行われた。学校長から、卒業証書がひとりひとりに手わたされ、巣立つ25名の卒業生に対して、親切と感謝についてはなむけの言葉が贈られた。

当時の校長先生の記録に、「新設のわが萩山に学び終えて、初の門出よ25の子ら。君たちの創り残せし校風を、萩山の子ら永遠に受け継ぐ」とある。

開校の年の卒業おめでとう。



▲卒業証書第1号

初めての野外活動



▲ 飯合飲飯もぼくたちの手で

7月17日 第1回目の野外活動が、5年生と6年生、2学年合同参加で 野外教育センターにて 1泊2日の日程で行われた。



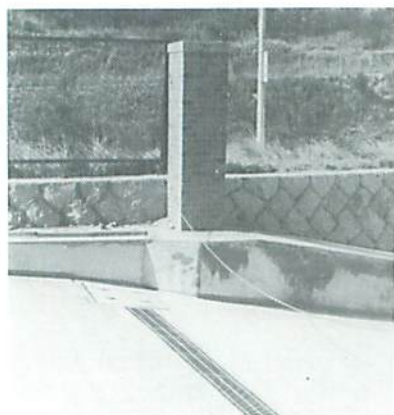
記念植樹

▲ 卒業記念樹

3月17日、第2回の卒業生41名が土手に瀬戸市の本である「クロガネモチ」を記念樹として樹えた。

通用門の修理完成

給食運搬車両や緊急自動車の進入に便利のように、通用門の急勾配をなだらかにし、コンクリートを打って、すべり止めを施した。



▲ 改修なった通用門

大雪降る

瀬戸市としては、めずらしく多雪の年で、交通機関も止まるなど市民の足がうばわれたが、萩山の子どもたちは、この機会を大いに利用するため一時限目を全校体育とし、雪合戦や雪だるまを作って楽しんだ。



▲ 雪の中の全校体育

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1/2 入学式(新一年七一名) 1/2 遠足(若松海岸潮干狩)全校 1/2 小運動会 1/2 PTA総会 1/2 市内陸上記録会に参加 1/2 (女子リレー五位入賞) 1/2 校内話し方大会 1/2 市内話し方大会 1/2 カイツカイブキ植樹(四五本) 1/2 野外活動(五・六年生) 1/2 通用門完成 1/2 秋季大運動会 1/2 修学旅行(静岡方面) 1/2 遠足(一・五年) 1/2 市内小学校球技指導会 1/2 市音楽会(五年全員参加) 1/2 一人一缶運動(ドングリ播種) 1/2 多雪第一時全校体育 1/2 (運動場フェンス南側) 1/2 カイツカイブキ植樹 1/2 植樹(卒業記念) 1/2 卒業式(四一名) |
|---|

校地の緑化すすむ

開校以来、着々とすすめられてきた学習環境の整備。3年目のこの年は、とりわけ緑の環境づくりに一段と拍車がかけられた。4月30日には校舎北面の土手に桜30本、杉40本が植えられ、学習の場にふさわしい落ちつきも出てきた。



▲ 伸びよ、スギ・ヒノキ

運動場整備



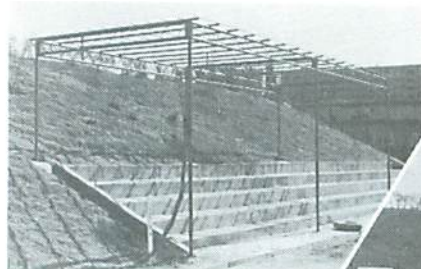
▲ タイヤコーナーできる

9月16日、タイヤコーナーが設置され、運動場の整備が一段落した。先生、父兄の協力のもと完成したタイヤコーナーで遊ぶ子ども達も大喜び。跳んだり、はねたりする遊びがまたひとつ増えた。

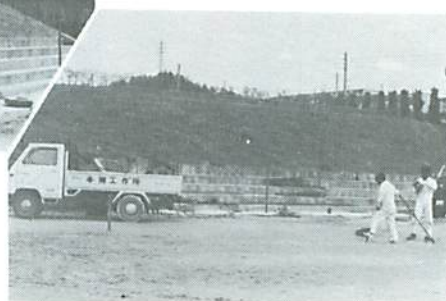
大イチョウの移植



▲ 移植されたイチョウ



▲ 完成した藤棚 ▶



藤棚完成

校庭の緑化が着実に進む中で、3月4日、藤棚が完成した。春になると緑につつまれた校庭の片隅に紫色の花が咲き乱れ一段と鮮やかさを増した。

- 1/2 入学式(新一年一四〇名)
- 1/2 遠足(小鈴谷海岸潮干狩)
- 1/2 植樹(ヒノキ他)
- 1/2 小運動会
- 1/2 青年会議所主催写生大会
- 1/2 野外活動
- 1/2 低鉄棒完成
- 1/2 瀬戸地方集中豪雨
- 1/2 児童用かさ設置
- 1/2 児童作品焼成窯完成
- 1/2 運動場整備工事完了
- 1/2 秋季大運動会
- 1/2 修学旅行
- 1/2 大イチョウ移植
- 1/2 タイヤコーナー設置
- 1/2 校内作品展
- 3/4 藤棚完成(卒業記念)
- 3/4 卒業式
- 3/4 運動場西端築山
- 3/4 北側防風林完成



体育器具庫も屋外便所も

第二代校長 大野 定一

わずか4年間の在職でしたが、いま開校10周年の声を聞くと、めでたく10歳の誕生を迎えたわが子の晴れ姿を前にして思わず思い出のとりこになってしまうような感懐にひたってしまいます。

…その一端… 赴任当時は、校舎が保健室以东までで、体育器具庫が無く運動場からずっと離れた保健室と応接室の間の土間あるいは、中央昇降口の入った所をそれに当てていたので、器具を使う体育のとき、ここから運動場まで飛び箱やマットを持って行ったり、運び上げる児童の姿を見るたびに何とかもっと手近かな所に器具庫をつくれなにか、また屋外に居る者が簡単に使用できる便所はできないものか。赴任早々の私の頭を重く占領してしまったこのことは、数度の市へのお願ひでも、他の増改築しなければならない学校のことを考えると、話が簡単には進みませんでした。

そんな時、本校も児童増で増築することになりました。計設図を見ると、増築校舎の西端は、校舎の一階の床より一段下で、いわば地階であり、その床面が運動場と同じ高さになります。

「ここを体育器具庫にするんだ」

飛び上らんばかりの気持ちで市に行きここを体育器具庫にするようお願いして解決しました。

また、体育館が新築されるとき、便所を外からも使えるようお願いして屋外からの便所使用についても解決しました。

言葉通りほんと胸をなで下しました。



▲ 8月13日より 校舎増築工事開始

- ⌘ 校内球技大会
- ⌘ 卒業式
- ⌘ 学習発表会
- ⌘ 学費等振替口座始まる
- ⌘ 職員室拡張工事
- ⌘ 歩け歩け運動
- ⌘ 学年運動会
- ⌘ 遠足(一～五年)
- ⌘ 修学旅行(静岡方面)
- ⌘ 校舎増築工事開始
- ⌘ 野外活動(本年度より二泊三日
(五年県野外教育センター))
- 運動場北半分使用不能
- (自治会安全部)協力
(PTA安全部)協力
- 校門前の登下校交通指導
- ⌘ 運動場北側擁壁崩壊
- ⌘ 小運動会
- ⌘ 運動施設の安全点検実施
- ⌘ 遠足
- ⌘ 入学式(新一年一四九名)

くずれ去る石垣

来る日も来る日も降り続く雨の中。5月26日、突如として運動場北側擁壁が崩壊し始め、遂に130 m 余りも堅牢な石垣があたかも角砂糖の溶けるが如く、またたく間に崩れ去った。それに伴い、洗われるように流出する土砂に運動場が大きく裂け、自然の猛威の前に茫然とする思いであった。この結果、運動場の北半分が使用不可能になる。しかし、とりあえず危険箇所シートを覆い、雨上りを待って復旧工事が開始された。



▲ 運動場北側擁壁崩壊



工事の中での運動会

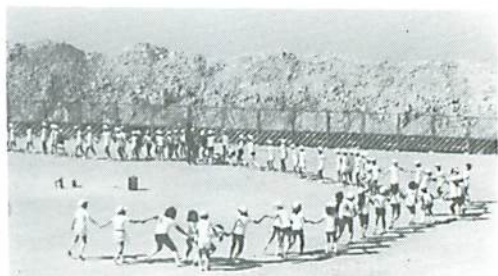
運動会のシーズンになっても北側のガケくずれの土がもられたまま、東側は増築のため運動場が取られせまくなったので秋の運動会は日を変え学年別に行った。学校全体でやる時とくらべるとちよっぴりさみしかったがせまい運動場、少ない人数でも工事中の雑音にまけないくらい大きな声や全力を出し合って競技を楽しんだ。



▲ 増築工事と土砂に囲まれた学年運動会 ▶

児童数の増加に伴い、教室の絶対数が不足したため、校舎の増築工事が開始されることになった。

この工事に際して、かねてより、その設置を強く望んでいた体育器具庫の工事も着手され、こうした中で運動会が行われた。



初めての歩け歩け運動

工事中の狭い運動場では、運動不足になりがち。子どもたちの体力作りに何かできないだろうかということで行なわれた初めての歩け歩け運動。オリエンテーリング方式で、グループは高学年の指導性を高める意図も含め、たて割りの4年～6年の混合で班を作った。ポイントは草むらにあったり、木の枝にぶらさがっていたり、道を間違えて苦勞したグループも…。この写真も「記念写真」というチェックポイントで写したもので、班旗もしっかり写っている。

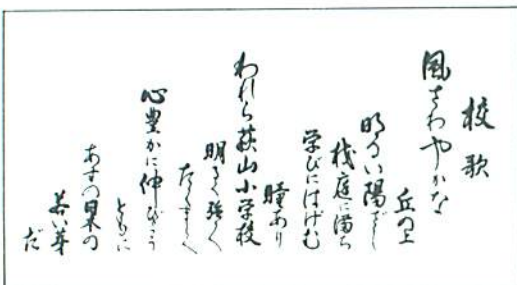


▲ 11月20日 歩け歩け運動

校歌制定

修学旅行や遠足でバスガイドさんに「では、みなさん校歌を歌って!」といわれ、「まだ、ぼくらの学校、新しいので校歌ないの」とさびしそうに子どもたちは、答えていた。

開校5年目「今年こそ校歌をつくろう!」という機運が高まってきた。PTAのみなさんにも詩やメロディーの公募をした。応募された作品の詩やメロディーをもとに、大野定一校長先生の作詩、横川志保子先生の作曲で、親しみやすいすばらしい校歌が完成した。



▲校歌の発表もあった
記念運動会

5周年記念秋季大運動会

10月2日、開校5周年を祝う多くのPTAのみなさんの参加で、秋季大運動会が盛大に行われた。クライマックスは、「校歌発表」であった。待望の校歌ができあがり、青空の下、よろこびにあふれた子どもたちの歌声が、運動場に響きわたった。みんなが5周年のよろこびをかみしめたときであった。



▲心をこめて作った私たちの作品展

校内作品展

2月19日、2年に1度の作品展。多くのお父さん、お母さんに見ていただきたいと日曜日に盛大に開催した。家族そろって、作品を鑑賞する姿は、とてもなごやかなものであった。

- ※ 卒業式(体育館)
- PTAバザー
- ※ 校内作品展
- ※ 保険団設立準備委員会
- ※ 遠足
- ※ 体育館起工式
- ※ 修学旅行
- ※ 市民祭参加
- ※ 秋季大運動会 校歌披露
- ※ バックネット修理
- ※ 体育館用地地質調査
- ※ 野外活動(五年)
- ※ 校歌制定準備委員会
- ※ 航空写真撮影
- ※ 入学式(新一年一六一名)



▲校章が
体育館
につき
完成した



体育館できる

開校以来、これまで卒業式・入学式などは音楽室で行われていた。全校児童が一堂に集うのは、運動場のみで不自由なおもいをしたことも多かった。そういう子ども達や先生方、父兄待望の体育館ができあがった。

竣工式は市長さんをお迎えし盛大に行われた。いよいよ体育館で運動や楽しい集いができることになった。

校章とりつけ

新しくできあがった体育館の東側面上部に卒業生の記念品として校章がとりつけられた。これは瀬戸在住の陶芸家・太田鉄夫氏によるもので、縦120cm横90cmの大きさで、織部を基調にした立派な焼き物である。

ぞう列車がやってきた！

9月18日、劇団うりんこ上演の「ぞう列車がやってきた」という劇を体育館で観劇。目の前で繰りひろげられる迫力ある劇に目をみはるばかり……。戦争のため殺されようとするぞうなどの猛獣たち。悲しい場面、おもしろい場面、それぞれ心に残るものとなった。



▲真剣に観劇する児童たち



▲お別れ講演される大野定一校長

さようなら大野校長先生

萩山小学校2代目校長・大野定一先生が長年の教員生活を終えられることになった。子どもをひきつける話術の持ち主で朝礼の「お話」をたのしみにしている子もいた。書写の指導にもとても力をそそいでみえた。『ありがとう — さようなら』の気持ちをこめて「送る会」がもたれた。

- | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------|-----------------|--------------|------------------------|---------------|---------------|-----------|---------------|-----------|-----------------|---------|----------------|
| 1/4 入学式(新一年一九七名) | 1/8 体育館竣工式 | 1/8 部活(バスケット)設立 | 1/8 市陸上記録会参加 | 1/8 観劇
(ぞう列車がやってきた) | 1/8 校門東フェンス完成 | 1/8 PTA歩け歩け運動 | 1/8 就学時検診 | 1/8 階段踊り場に鏡設置 | 1/8 学習発表会 | 1/8 登り棒工事(卒業記念) | 1/8 卒業式 | 1/8 大野定一校長を送る会 |
|------------------|------------|-----------------|--------------|------------------------|---------------|---------------|-----------|---------------|-----------|-----------------|---------|----------------|



萩山小学校の 開校10周年に寄せて

第三代校長 柴田 和 平

萩山小学校開校10周年、まことにめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

縁あって私がお世話になったのは、昭和54年4月から3年間です。僅か3年間というものの、この間市教育委員会のご指導のもと、連区並びにPTAの皆さんには小学校の充実、発展のため格別温かいご支援をいただきましたことを感謝いたしております。また、先生方のご協力により毎日毎日が充実した日を送らせていただきました。本当になつかしく想い出す3か年でした。

在任中のことで印象に残ることといえば、学校の緑化、新しく校旗を作っていただいたこと、視聴覚機器の充実等があげられますが、いずれもPTA、卒業生の方々のおかげによるものです。

特に強く心に焼きつけられていることは、昨年の夏休み中に行われた親子そろっての奉仕活動です。大勢のお父さん、お母さん方のご参加により児童も実に熱心に活動しました。運動場へ土を運ぶお母さん、つるはしをふるうお父さん、負けじと手伝う児童たち、先生も混じって共に汗を流した数時間は、学校が美しくなった、学校を美しくしていただけたという喜びの他に、児童に対して親の働く姿を見せていただけたという有難さと親と子と先生が一体になって共に汗を流したことで何かしら心の通いあうものが生まれたことの感動がいり混って今も実に鮮やかに想い浮んできます。子供の教育には大人の実践が肝要であることを改めて認識させられました。

ともあれ、10年という節目を迎え、萩山小学校並びに萩山小学校PTAのますますのご発展を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

(現 尾張教育事務所指導主事)



▲ 児童、父母、職員による奉仕作業

- 3% 卒業式
- 3% ローターリー完成(卒業記念)
- 2% 国際児童年記念校内作品展
- 1% (PTA作業)
- 1% 体育館前花壇造成
- 1% 校庭斜面の緑化工事開始
- 1% 国際児童年記念人形劇鑑賞会
- 1% 校庭東側フェンス設置
- 1% 臨時休業
- 1% 台風二〇号通過にともなう
- 1% 市小中学校野外美術展に参加
- 1% プセル用作品提出
- 1% 市制五〇周年記念タイムカ
- 1% 秋季大運動会
- 1% 一枚破損・生垣傾く
- 1% 台風十六号来襲(窓ガラス)
- 1% (日本新交響楽団)
- 1% 国際児童年記念音楽鑑賞会
- 1% 国際児童年記念小運動会
- 1% 運動場土入れ整地
- 1% 入学式(新一年一九九名)



▲ 野外美術展に参加

市民公園で行われた野外美術展では、瀬戸市の小中学生の作品（粘土作品、木馬、段ボールの城、トーテム・ポール、紙粘土の花）が、交通公園にところ狭しと並べられた。

国際児童年記念行事

国際児童年を記念し、各種の行事が行われた。小運動会、音楽鑑賞会、野外美術展、人形劇鑑賞会など、その名にふさわしいものであった。



▲ 日本新交響楽団を招いての音楽鑑賞会

校庭の緑化事業始まる



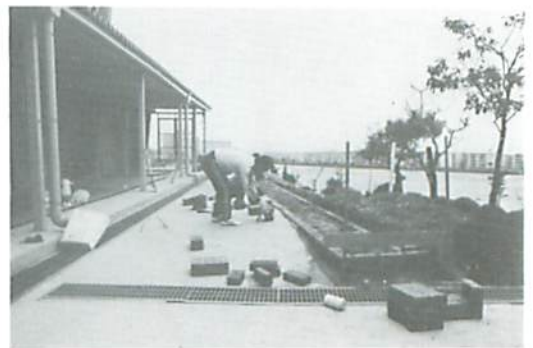
▲ 卒業記念として贈られたクロガネモチ

瀬戸にありながら、なぜか外来のイメージを払拭できなかった萩山小学校。それが緑化キャンペーンにより灯をともしられたような気がする。

コンクリート砂漠に負けることなく、しっかりと大地に根をはったクロガネモチ。それと互いに手を取り合うように咲き競うサツキ・ツバキ・ツツジたち。運動場で遊ぶ子ども達を優しく見守る校章を形どったサツキは、心うれしいものである。



▲ 赤茶けた地肌から緑豊かな環境へ



▲ P T A 作業により花だん完成

萩山タイム開始

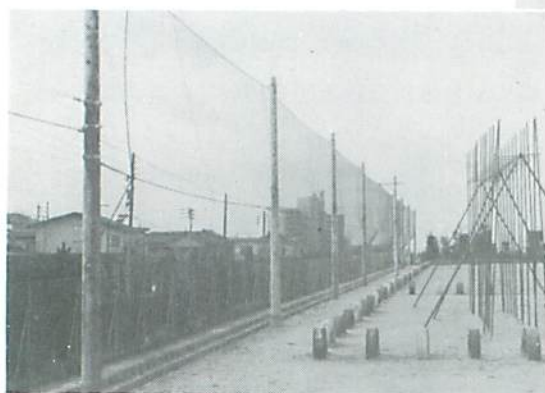
業前体育を、本年より新たに、「萩山タイム」と名付け、毎朝一斉の、体力づくりに励む子どもたち。明るく、強く、たくましく……校歌にあるように、季節に合わせて種目をかえ、体力づくりに励む子どもたち。



▲ 校長先生といっしょに

防球ネット完成

ボールを追いかけて、校外へ……という毎日、だったが、北側、南側の順に緑色の防球ネットが張られ、ボールとの追いかけてもついにさよならした。今までよりも、のびのびと運動できるようになり、子供たちの声もいちだんと大きくなった。

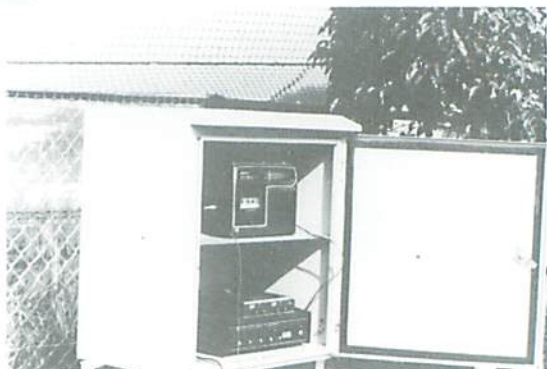


▲ 高さ6m 延長220mの防球ネット

校庭放送設備完成

朝礼台の背後に放送設備が完成し、ハンドマイクを運ぶという不便さから解放された。音質もぐっとよくなり、朝礼のみならず、萩山タイム、運動会等、幅広く活用されている。

放送ボックス▶



- 校旗(卒業記念)
- 3/6 卒業式
- 3/6 みんなで遊ぼうキャンペーン
- 3/6 運動場に防球ネット完成
(南側)
- 4/6 瀬戸大会に参加
- 4/6 ゴミ置場設置
- 4/6 秋の大運動会
- 4/6 校庭放送設備完成
- 4/6 運動場に防球ネット完成
(北側)
- 4/6 理科室の暗幕取り替え
- 4/6 萩山タイム開始
- 4/6 航空写真撮影
- 4/6 (身障者用)
一階東トイレ改修
- 4/6 新教育課程本日より実施
- 4/6 入学式(新一年二五名)

初めての両親学級

日曜日の午後、初めての試みの両親学級が行われた。お父さんは絵のモデルに、お母さんは子どもと一緒にゲームをするなど大奮闘。大盛会の授業参観であった。

熱心に参観するお父さん・お母さん ▶



はしご車を使つての避難訓練

5・6年児童14名の代表者が緊張の面持で、3階トイレよりはしご車へ移動、ガッタンと第一次移動の始まり、グッと恐怖感が増し、手足ががたがたとふるえだした。

緊急脱出訓練 ▶



飼育舎完成

学校のまわりに田んぼも川もないという環境を少しでも別の形で補っていけたら…。

動物を愛する心。世話をすることの大切さ。小動物の生命というものを授業、放課後の活動を通して養っていかれたら願っている。



▲ かわいい入居者？ 募集中

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1/3 入学式(新一年二一名) 1/2 交通安全教室 1/2 (県警フラスバンド) 1/2 遠足(学年別バス遠足) 1/2 野外活動 1/2 (県野外教育センター) 1/2 廊下にスピーカーとりつける 1/2 陸上記録会参加 1/2 両親学級 1/2 第一回地区別懇談会 1/2 大会に参加 1/2 サッカーミニバスケット 1/2 運動会 1/2 修学旅行 1/2 遠足(徒歩) 1/2 人形劇鑑賞(竹田人形座) 1/2 避難訓練(はしご車を使って) 1/2 校内作品展 1/2 掲揚塔完成(卒業記念) 1/2 卒業式 1/2 飼育舎設置 |
|---|

開校10周年記念大運動会

9月26日、秋空のもとでの運動会。本年は開校10周年記念ということで、開会式でのハトや風船飛ばし、アトラクションとしての新体操模範演技、また、新種目として地区対抗リレーも行れ、例年にない盛大な運動会となった。



▲ 力いっぱい引っぱった棒引き



▲ 優勝盾めざし緊張の瞬間



▲ バトントワラーを先頭に、銀河鉄道999の曲に合わせて堂々の入場行進



▲ 本番でバッチリ成功した組体操

⅔ 入学式（新一年二一九名）

⅔ 遠足（春、徒歩に変更）

⅔ バレーボールコート設置
部活（バレーボール）設立

⅔ 陸上記録会に参加

⅔ 両親学級

⅔ 野外活動
（県野外教育センター）

⅔ 運動場時計とりつけ

⅔ 地区別懇談会

⅔ 般空写真撮影

⅔ 開校10周年記念運動会

⅔ 修学旅行
（滋賀・奈良方面）

⅔ バックネットの張りかえ

⅔ 遠足（六年徒歩
一～五年バス）

⅔ 観劇（鬼剣舞）

⅔ 十周年のつどい

バックネットの 張りかえ

あちらこちらに穴があき、補修しながら使ってきたバックネットの金網も全体的にもろくなってきた。そのため、本年度の設備拡充の一環として、金網の張りかえ工事が行われた。



▲ 新しくなったバックネット

滋賀・奈良方面への修学旅行

今にも降りだしそうな空模様の中、滋賀・奈良方面への修学旅行に出発した。1日目は、彦根城・比叡山延暦寺の見学と外輪船での琵琶湖めぐりであった。途中、比叡山では、風雨も強まり霧もたちこめ、寒さにふるえた。



▲ さあ、楽しい修学旅行に出発だ！



▲ おかわり 何ばいにしようかな



▲ 「わあー気持ちがいい」 若草山



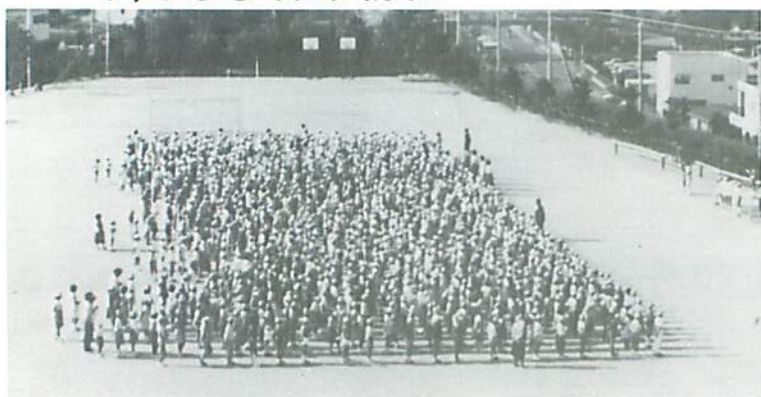
▲ そびえたつ彦根城天守閣



▲ 人、人、人の波だった大仏殿

2日目は天気も回復し、宇治平等院、東大寺などを見学し、若草山で遊んだ。どこの見学地でも、小学生、中学生、高校生でいっぱいであった。

1,105名の朝礼



昭和48年に開校、児童数144名でスタートした本校も、昭和57年10月現在、1,105名(男561名女544名)、全児童が運動場に整列した様子は壮観で、運動場が狭く感じられる。

数年後に児童数は最高となり1,200名をこす予定である。

◀ 10月15日の朝礼風景

楽しい給食

「給食へらして」入学して1週間毎日泣いていた児童がひと月も経つと「先生、おかわりしてもいい？」と言うようになる。

給食が待ち遠しいというのは古今東西変わらぬようである。ちなみに、好きな献立ベストスリーは、焼そば、たきこみごはん、コーンポタージュ。10年後には……。



▲ 今日の献立は？

縄とび運動



◀ 仲よく体力づくり

萩山タイムが始まって3年目、始業前のかけ足、ラジオ体操、縄とび運動に意欲的に取り組むようになった。縄とび運動は10月の種目で、子どもたちは、進級表の級別種目に挑戦し、楽しくカー杯縄とびをしている。

飼育委員会の活動

待ち望んでいた飼育小屋が完成し、動物を世話する飼育委員会が新しくできた。

餌やり、飼育小屋の掃除など当番の児童がこまめに世話をしている。ウサギと遊ぶ子どもたちに、動物を愛護する気持ちや自然を見る目が養われることを大いに期待したい。



◀ ふえた動物のせわに大活躍

さかんになった部活動



▲ バスケットボール部



▲ サッカー部



▲ バレーボール部

バスケットボール部、サッカー部に加えて新しくバレーボール部ができた。どの部も大会に向けての練習に熱が入り、ボールを追う目は真剣そのものである。

大好きな体育



▲ 先生とべたよ!

児童会役員選挙

会長、副会長、書記、会計の候補者が、学校生活をよりよくするための児童会活動のあり方について熱弁をふるう。応援の児童の姿に、必勝の意気込みが感じられる。



▲ 熱弁ふるう候補者

手をあげて登下校

交通事故の多発する昨今、登下校のさいの手あげ横断は、子どもの命を守るための大切な交通安全指導のひとつである。右・左・右、よく見てさあ、渡ろう。



▲ みんなで守ろう交通ルール

合奏練習



▲ タクトを振って

10年のあゆみ



▲ 講演会 (53.6.24)

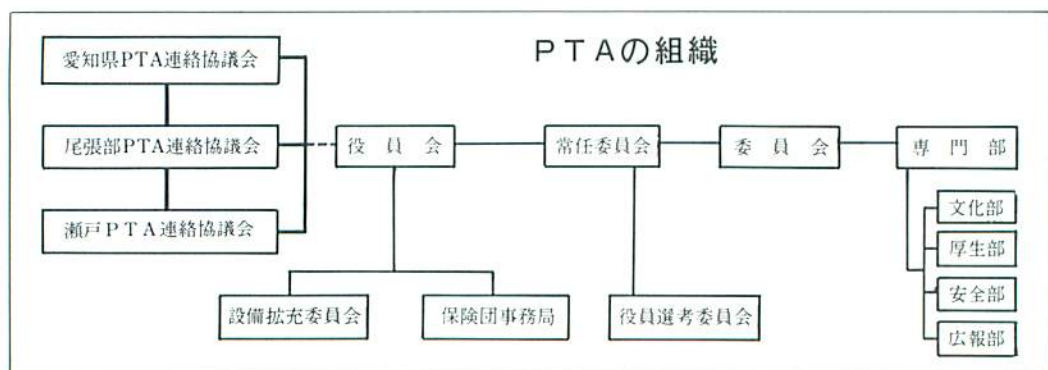
歴代 P T A 会長

代	年 度	氏 名
1	48~49	武 嶋 千 代 三
2	50	浅 田 幸 人
3	51	清 水 鉦 二
4	52	市 崎 謙 作
5	53	徳 安 武
6	54	富 田 満
7	55~56	島 田 七 郎
8	57	小 栗 敏 男

- 文化部——講演会、社会見学、コーラス部
手芸部、歩け歩け運動
- 厚生部——環境整備作業、廃品回収（年4回）、給食センター見学及び給食試食会
- 安全部——ゼロの日の交通安全指導、夏と冬、春休み、商店街行事時の校区内パトロール
- 広報部——広報紙「はぎやま」年三回発行
- 保険団——簡易保険集金業務



▲ 交通安全指導講習会(57・6・3)





▲ 音楽室でPTAのスタート

昭和49年度

廃品回収

街区ごとに集荷場所を決め、親子力を合わせての廃品回収が始まった。(年4回)

(49・7・13)



▲ 慣れた手つき? で花壇づくり

昭和51年度

安全講習会

人工呼吸・応急手当法の講習会。
呼吸法を見つめる目はどれも真剣そのもの
(51・12・7)



▲ 味もいいし、ボリュームもたっぷり

昭和48年度

PTA 設立総会

父母と教師の会(PTA)は、会員147名
で発足した。

(49・2・9)



▲ 親子で力を合わせて

昭和50年度

環境整備

雑草をぬき、つるはしを手にしての花
だん作り! 石が大へん多くて苦勞した。

(50・9・30)



▲ 消防署員による人工呼吸講習会

昭和52年度

給食試食会

参加人数 80名
栄養タップリの献立で大好評
(52・7・1)



▲ 青空のもと親子で歩け歩け

昭和54年度 手芸作品展

手芸作品を会員の皆さんに見ていただく機会を得、部員一同大はりきり！
(55・2・18～19)



▲ 心をこめて作った作品の数々



▲ 親と子の楽しいコーラス

昭和56年度 両親参観日

はじめてのこころみの両親参観日。
「家庭でのしつけ」の講演も行なわれた。
(56・7・5)



▲ 水耕研究所の見学

昭和53年度 歩け歩け運動

第1回歩け歩け運動は、秋空のもと青少年公園まで5kmの道のりを歩いた。

参加者 300余名
(53・11・12)

昭和55年度 コーラス部の活動

歌うことが楽しくて、毎月2回の活動日が待たれます。歌を通して会員同志の輪が広がるのも大きな魅力である。



▲ 両親そろっての授業参観

昭和57年度 社会見学

毎年会員交流の場として、会員のみなさんから楽しみに待たれている社会見学に、今年も多数の参加がありました。

(57・9・27)

盛大だった 10 周年記念大運動会 (57・10・26)



▲ 大空へ飛ばした600個の風船

10周年記念行事としての
大運動会。

開会式には、数十羽のハ
トと種子をつけた 600 個の
風船を夜来の雨もあがり、
抜けるような秋空高く飛ば
した。

アトラクションの中京大
学新体操部の熱演には子ど
もたちも大喝采。

卒業生・職員・PTA 会
員の二人三脚は卒業生の若
さに軍配があがった。

10周年を祝う
風船の便りが、
北の国から届け
られた。

小学生・中学
生・高校生・主
婦の方・73才の
おじいちゃんか
ら。



▲ はばたき



▲ 創立10周年



▲ たくましく



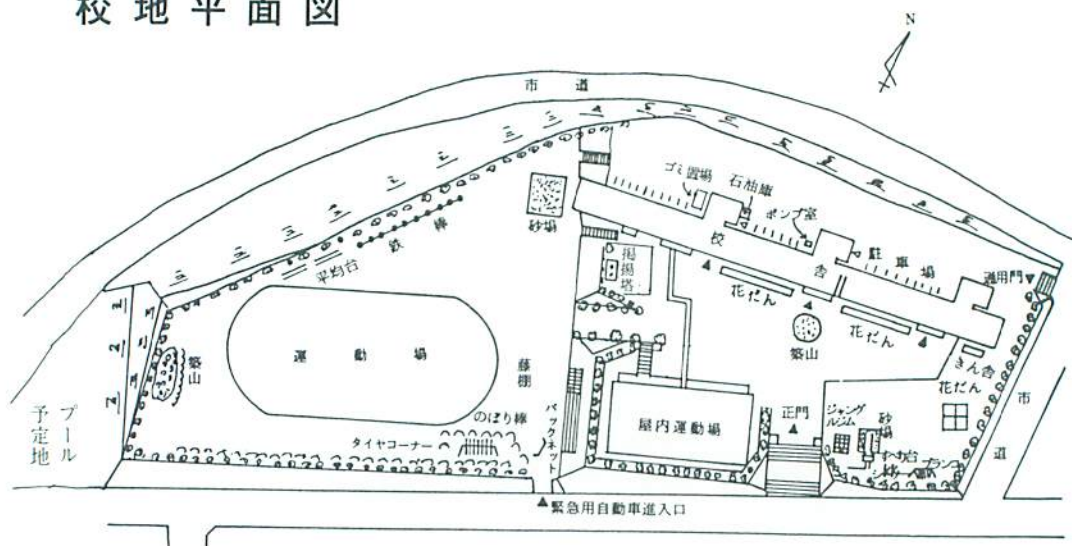
▲ 優雅に



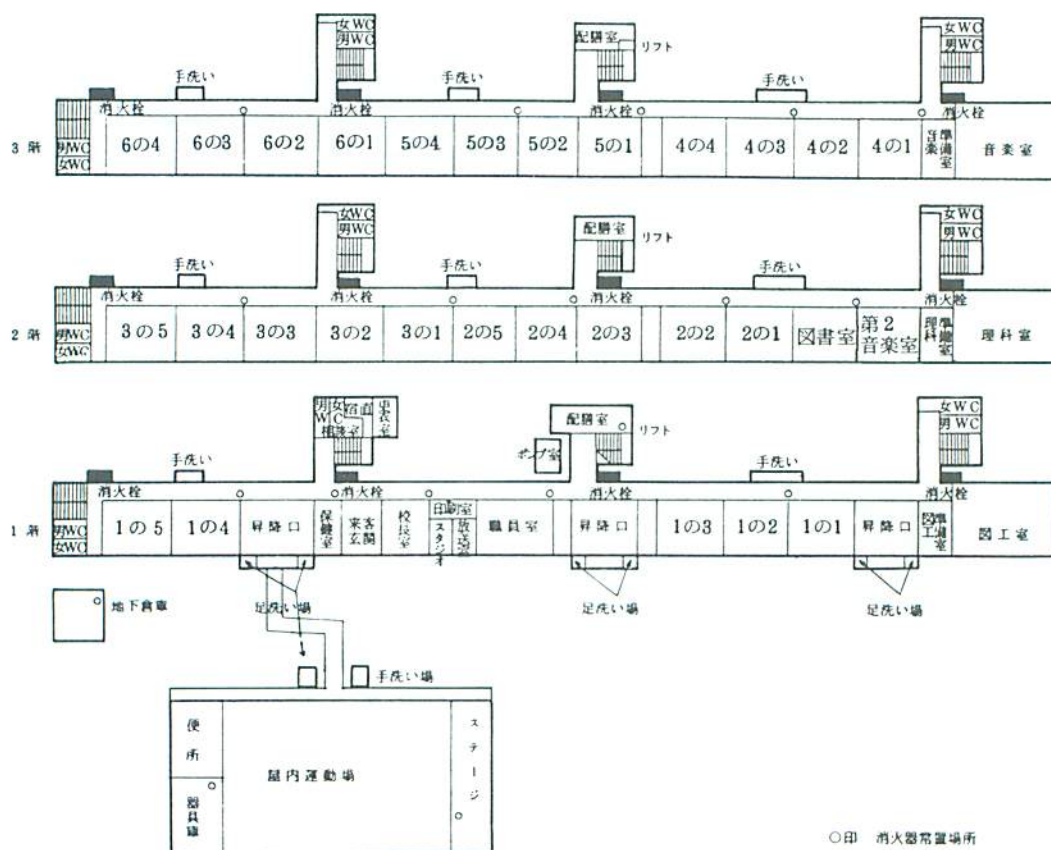
▼ 若さの勝利

現在の学校配置図

校地平面図



校舎平面図



教職員一覽表

職名	年度	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
校長		毛利 元孝		大野 定一				柴田 和平			柴本 通久
		山田 顯義			木全 正之				山田 清香		
教頭		梶田 敬賢							水谷 政彦		
		丹羽 孝男		前田 修							
教諭		五百田 信子							羽賀 節子		
		鈴木 三樹		藤畑 政治							
"		加藤 卓		(風間 天美)		伊藤 紅良					
		安田 透枝	(風間 天美)			(神村 久恵)		久世 千枝子		(原田 友晴)	
"			山本 勝子						鈴木 郁代(青山)		
			村上 香		小林 文代						
"			藤原 隆一							久野 一光	
			村山 典子			宮脇 藤					
"			太田 豊久					山田 直子			
			日比野 千恵子					藤井 美代子			
"			加藤 隆正								
			川本 段一					伊藤 段三		加藤 敏子	
"			沼崎 るみ子			奥山 百々枝					
			加藤みどり	(徳田 幸子)	(松浦 康子)				枝江 深広		
"			大石 富美子(矢横)						(鈴木 光政)		
			平子 美津江(近藤)						(池田 純子)		
"				内野 邦子(佐藤)	(松浦 康子)					(大石 仁美)	
				鈴木 薫子(宮石)			(仲通江江)(日置宏之)	加藤 喜司			
"					牛田 よし子		(柴田美知子)(鈴木 光政)				
					森 房子						
"					大石 賢一			伊藤 和義			
					横川 志保子					村崎 芳美	
"						杉本 純子				下村 真由	
						藤田 裕美子				原 正彦	
"								加納 孝雄			
								石原 のり子(小野沢)			
"										浅井 光雄	
										三輪 真子	
養護教諭				大沢 美恵子(伊藤)					(加藤八千代)		
		徳田 幸子		成田 頼美			松井 美智子		柴田 美知子		
講師		神谷 恵子		江原 広子					水野 はるみ		
		平田 貴美子						山本 裕子			
県事務		松原 隆子									
		稲垣 千恵子							(川崎 純子)		
市事務										近藤 哲夫	
										(浅井広子)	
用務員											
(栄養士)				高木 澄代	枝江 貴子	岡合久美子	加藤たか子	長谷川芳美			
技師											



あ と が き

昭和48年4月1日、菱野団地2番目の小学校として開校以来10年目を迎えました。144名の児童と11名の職員でスタートしてから現在までに732名の萩山っ子が、新しい校風を作りつつこの台地から巣立っていきました。

この10年間で1つの区切りとして、校地・校舎の施設・備品の充実状況、教育活動、PTA活動等を顧み、その間、関係各位からお寄せいただいたご尽力に対し衷心より感謝申し上げるとともに、明日への一層の飛躍を期して記念誌を発行することにしました。

編集に際しまして、PTAで編集委員会を設置して全面的にご協力いただくとともに全職員で目的にかなった記念誌にしたいと努力してまいりましたが、ご期待に添うものができなかったのではないかと存じます。

しかしながら、この小冊子が萩山台に生まれた街と学校の10年の変遷を知り、発展への糸口となれば幸いと思います。

最後になりましたが、編集に際し、快く原稿や貴重な資料をお寄せいただいた、諸先輩並びにに関係各位に厚くお礼申し上げます。

編集者一同

— は ん や ま —

昭和57年11月12日 発 行

編集発行 瀬戸市立萩山小学校
瀬戸市立萩山小学校PTA
瀬戸市萩山台2丁目22番地
TEL (0561) 83-3650

印刷所 有限会社 アイコー社

